

# 事後評価説明資料

## 水ヶ江町枝吉線 街路整備事業

県土づくり本部 まちづくり推進課

# 都市計画道路 水ヶ江町枝吉線 街路整備事業概要



## 事業概要

事業箇所: 水ヶ江町枝吉線

事業期間: H63 ~ H13年  
(一部歩道のみH19完成)

事業費: 約66億円

道路拡幅:  $L = 1,400\text{m}$   
 $W = 16.0\text{m}$

佐賀市中心市街地(龍谷高校前)から環状東線を通り、佐賀市東部(諸富町)へ向かう道路

# 整備前の状況

- ・車道が狭く一車線しかなく、自動車同士の離合も困難
- ・歩道がなく歩行者、自転車危険な状況

整備前の状況



自動車同時の離合  
が困難な幅員

歩行者自転車  
が危険な状況



# 事業の効果

## 安全の確保

両側歩道の整備により歩行者、自転車の安全が確保された。



安全な歩道

## 円滑な交通の確保

車道拡幅、交差点の改良により、スムーズな交通を実現



スムーズな交通

# 事業の効果

## 道路網の形成

・現在、県事業による佐賀環状東線、佐賀市により大財木原線が整備中。

・水ヶ江町枝吉線と併せて、佐賀市内の放射道路・環状道路が整備され、佐賀市内の交通が道路網により処理されます。

至 佐賀駅

至 鳥栖



至 佐賀空港

至 諸富・大川

# 事業の効果

## 良好な市街地の形成

**緊急車両**の円滑な交通が実現

街路樹による**景観形成**

**UD・バリアフリー**の観点から点字ブロックを設置

隣接する佐賀江川の**精霊流し**のため道路から川へ降りられる階段を設置し、**地域の文化・風習に配慮**した整備を実施

佐賀城本丸歴史館、県立図書館、県立美術館等の**観光施設へのアクセス強化**

景観への配慮・バリアフリー



街路樹による  
景観形成

地域文化への配慮

着脱式防護柵  
で安全に配慮



# 県民の意見（自治会長への聴取り）

## 交通処理について

- ・歩道が確保され、整備前に比べ歩行者・自転車共に安全になった。
- ・2車線の車道により、交通がスムーズになり自動車の利用が便利になった。

## 地元の活動について

- ・精霊流し用の階段は県と地元で調整し設置できた。
- ・町内会の清掃活動と県による道路清掃が同じ時期に行われていることがある。維持管理時期の調整ができないか。

# 地域住民との関わり

**地元の風習の精霊流し**に配慮し、地元の方々と調整し道路から河川に降りる階段を設置。例年8月には、約100艘の精霊船が流され、多くの見物人や出店が集まり、地元の**夏の風物詩**として親しまれている。



写真：精霊流しの模様  
(例年8月)



# 今後の課題

## 事業期間の管理

完成までに約20年と事業期間が長くかかっており、社会情勢もあり土地単価等の上昇による事業費の増大を招いている。土地収用法の活用等、適切な事業の管理が必要である。

## 官民協働による維持管理

地元による清掃活動が行われているが、県の維持管理とは独自の取組のため時期が重複する事があり、両者で時期や内容について調整をおこなうことでより合理的な維持管理をおこなう必要がある。

# 新規・再評価への反映

- ・地元町内会では、精霊流しの前後や季節毎に美化活動が実施される等、積極的な取組が見られる。
- ・こういった、地域の風習・文化を重視した整備を行うことで、地元の方々に公有財産に対する共有の意識が生じ、官民協働での維持管理が可能となるのではないかと。